

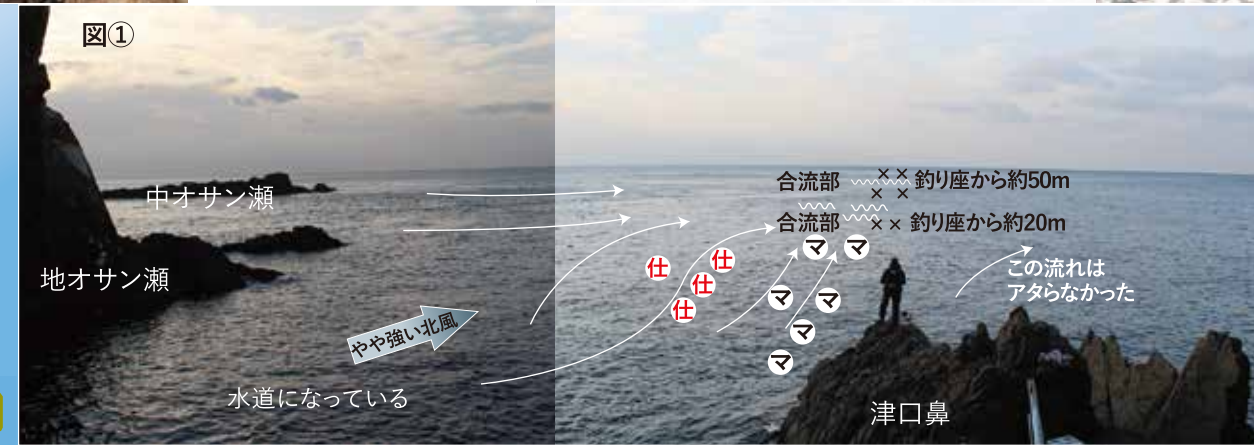


中オサン瀬を沖から望む

図①のように、水道から出て来る上げ潮と「地オサン瀬」をなめて来る潮、「中オサン瀬」の水道からの上げ潮の合流（ぶつかる）部が喰う所になると考えます。流れも速く、本流釣りに近い感じだと思います。また、ここは手打なので、やはりオナガグロも意識して仕掛けを作ります。喰うか喰わないか、分からないですが「来たら獲る」を頭に入

です。また、V10スペシャルは、フェロモン効果と白系のニゴリが特徴で、魚にエサをアピールして、釣り人に潮流を教えてくれます。私の釣りでは、欠かせないマキエサです。（先打ちマキエサをする人は、白系のマキエサは必須マキエサです。）ツケエサはオキアミ生を半角、別に用意してマキエバツカンの手前に入れ、マキエサに混ぜながら、ツケエサを選んで付けます。

《実釣スタート》



図①

て行くみたいで仕掛けもなじんでいない感じです。そこで仕掛けは、対岸よりの①の所に遠投しておうぎ形に合流部に持って来るようにして、アタリを取ります。するとボツボツアタリが始めますが、連続ヒットとは、いきません。クロのタナも今一つはつきりしません。

次に合流部に直接仕掛けを遠投してみますが、これはツケエサをさわりもしません。もう一度、もとに戻して②に仕掛けを入れ、合流部まで流しますが、エサが残ったり、盗られたり、小型の口太がアタったりと、ダメな状況が続く中、ウキをよく見てみると、ウキの角



***オナガ来たら獲る
口太ギリギリ仕掛け例**

ウキ止め 半円シモリ
ウキ：釣研ゼクトα3B
Tクッション 3B
極小サルカンB（流れが強い）
～G3（流れが弱い）

道糸：サンラインブラックストリームマークX 3号

リール：ダイワトーナメントZ 2500LBD

ハリ：がまかつMシステム尾長 7.75号くわせ（7:00～8:00）
競技くわせ 6号（8:00～10:00）
5号（10:00～12:00）

ハリス：2ヒロ強サンラインブラックストリーム 3号 7:00～8:00
2.5号 8:00～9:00
2.25号 9:00～10:00
2号 10:00～12:00

竿：がま磯マスターモデルII 尾長M 5.3m

↑細身でキリッと魚を寄せるニューロッド『がま磯マスターモデルII尾長(M)』。今回、秘められたパワーのポテンシャルの深さを感じ取ることができた！まだまだ全然いける！！

れつつ、口太もギリギリ喰うだろうと言う仕掛け作りです。詳しくは仕掛け図を参照して下さい。仕掛け図を見ていただくと分かる通り、朝一は、オナガグロを意識した仕掛けで、時間とともに口太メインで、でもオナガが来ても何とかしようと言う考えの仕掛けでのぞみました。結果から言うと、今回は残念ながらオナガグロは不発。ただ口太グロも、あまり活性が高くなく苦労させられました。

もう一度図①を見て下さい。釣り座からまず足元にマキエサを入れて、潮の流れ、速さ、エサ盗りをチェックします。エサ盗りは確認できませんが、流れは速く、マキエサもアツという間に見えなくなります。おまけに逆光です。

ラストスパートだぜ!!



《下飯島》

1月下旬の日曜日にF・ナポレオン軍さんで下飯島・手打に行つて来ました。久しぶりの手打で、ワクワク・ドキドキ夜も眠れません。と言うのも以前はしょっちゅう出かけていて、11月から3月は、手打西岸エリア、手打湾の「下長（シモオサ）」から野崎・早崎そして鈴崎の「丸瀬・大瀬」辺りまで禁漁区となり渡礁禁止となります（もしかすると今は、早崎までも知れませんか？）。ですから、今の時期は手打ちの東岸エリアが、釣り場となります。私は、東岸・西岸どちらも好きで、「口太は東、オナガは西」とか「型は東、数は西」とか先輩の釣り

人がよく言われていたのを憶いします。個人的には、大きい地グロを釣りたいです。ハイ。

今回は、若船長（内田大介氏）に代わられて頑張っているという評判を聞き、挨拶がてら釣りに行くと言うことと、新製品のウキやロッド・マキエサの実釣も兼ねての手打釣行です。楽しみです。

《マキエサ》

私が乗礁したのは、津口鼻の「水道」という磯で、初めてです。場所的には、飯島列島の最南端の地磯です。目の前に「中オサン瀬」があり、「地オサン瀬」の裏側になります。

今日の潮は下りの中潮で満潮が、午前10時30分頃なので、釣り座から見ると、最初右流れて、下げ潮で左流れ、もしくは当り潮っぽくなると思います。それではマキエサ作りです。

今回は釣る時間が5時間程ということで用意したのは、オキアミ生3kgを2角、ジャンボアミ1角に配合エサを2袋準備します。

配合エサは、マルキューの新製品「グレパワーV11」と「グレパワーV10スペシャル」を1袋ずつ2回に分けて作ります。まず、アミエビ半角を細かく潰して、においが良く出るようにします。次にオキアミ1角を適

当につぶして、原形も残るように、7つぶし3原形という感じかな。釣れたクロをさばいてみると、形の整った身のしっかりしたオキアミを好んで食べているようなので、原形を見せて、クロの喰い気を高めます。だったら原形だけまけばいいのかもしれない、それでは、すぐに飽きてしまい、釣れる時間が短くなります。やはり配合エサとアミエビ、つぶしたオキアミがあつての原形アビールです。

オキアミは7つぶし3原形という感じ…

オキアミ生を半角、マキエバツカンの手前に入れ、マキエサに混ぜながら、ツケエサにも使う

←V11に配合された赤色の“つ”の字型“M.S.ベレット”がオキアミと同調する

配合エサの役目としては、V11は、オキアミ型ベレット配合で、集魚効果と水中での拡散で、魚を浮かして魚に活性を上げさせ、スイッチを入れ、喰いを長く続かせる役目です。

当につぶして、原形も残るように、7つぶし3原形という感じかな。釣れたクロをさばいてみると、形の整った身のしっかりしたオキアミを好んで食べているようなので、原形を見せて、クロの喰い気を高めます。だったら原形だけまけばいいのかもしれない、それでは、すぐに飽きてしまい、釣れる時間が短くなります。やはり配合エサとアミエビ、つぶしたオキアミがあつての原形アビールです。

南のつりアドバイザー 野間辰美

沖オサン瀬